

請願第31号	平成27年12月2日受理
付託委員会	福祉常任委員会
件名	地域猫活動における「不妊・去勢手術助成金制度」制定を求める件
紹介議員	横山博美議員 緑川利行議員 河野慎一議員 原弘志議員 植田進議員 菅野文男議員 奥山智議員
請願要旨	
<p>野良猫による糞・尿被害（衛生問題、トキソプラズマ症など）、鳴き声、子猫出産など、全ての地域において深刻化しており、地域住民からの苦情が絶えません。</p> <p>千葉県における猫の捕獲数は平成21年において6,246匹。捕獲後の殺処分数は5,722匹で、全国1位でした。把握できている平成25年でも、殺処分数が2,568匹で全国8位と、相変わらず不名誉な記録を残しています。</p> <p>無論、根本的な理由として飼い主のモラル、あるいは無責任な餌やりの問題があるわけですが、現存してしまっている多数の野良猫に対する対策が必要です。</p> <p>千葉県では平成24年に「地域猫活動に関するガイドライン」が策定され、野良猫に対して地域猫活動で対応することが求められています。野良猫の状況把握、管理された餌やり、トイレ設置、そして、野良猫をふやさないための不妊・去勢手術が欠かせません。県による「不妊・去勢手術事業」もありますが、県全体で、わずか年間100匹までとなっており、全く現状に比べられるものではありません。</p> <p>地域でのボランティア活動にも限界があり、各自治会・町会も含めて対応すべき問題であると考えます。しかし、地域猫活動には予算が必要です。千葉県でも既に16自治体が犬・猫の不妊・去勢手術助成を制度化しています。つきましては、本市においても野良猫対策の強化を求めるものです。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 野良猫の不妊・去勢手術において、助成金制度を制定されたい。 市は、野良猫による被害への対策と、地域猫活動への指導・支援を積極的に取り組まれない。 	